

# ＜バッテリー＞LED バルーン投光機

## SMB241LLG



投光器・バルーンライト  
レンタル専門店

 笑顔のバトンタッチ  
**上州物産株式会社**

### 目次

- ・メーカー取扱説明書
- ・返送時梱包手順

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

緊急連絡先：080-5643-7181

# shindaiwa<sup>®</sup>

---

## 取扱説明書

---

### 投光機用台車

## SM46

**⚠ 注意**

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

T30619000


## はじめに

このたびは、新ダイワの投光機用台車をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。


- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 灯具ユニットと発電機の取扱いについては、各々の取扱説明書をお読みください。
- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取扱いができる人が行ってください。また、安全作業上で影響が出るような病気・薬服用・体調不良の場合は、本機の使用を控えてください。
- 本機を使用した作業や本機の取扱いにおいては、関連する法律（労働安全衛生法、電気事業法、電気工事士法、消防法、騒音規制法等）およびそれらの法律に基づく規則を遵守してください。
- 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
- この取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう、所定の場所に大切に保管してください。紛失・汚損・破損したときは、お求めの販売店にご注文ください。
- ご不明な点、お気づきの点がありましたらお求めの販売店にご相談ください。また、本機についてのお問い合わせ時は、モデル名と製造番号をお知らせください。
- 本機を廃棄される場合は、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

 **警告**：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

 **注意**：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合および物的損害が発生する可能性がある場合。

<注意>：本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

- 『 **注意**』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 目 次

1. 安全上の注意	2
2. 仕様	4
3. 用途	4
4. 各部の名称	5
5. 購入時の組立て	6
6. 発電機の取付け・取外し方法	6
6-1. ガソリンエンジン発電機の取付け	6
6-2. バッテリー発電機の取付け	7
7. 操作方法	7
7-1. 台車ハンドルの操作	7
7-2. アウトリガーの操作	8
7-3. マストの操作	8
7-4. 車輪止めの操作	10
8. 運搬方法（移動・車載）	11
9. 保管	12
10. 故障時の対応	13

## 1. 安全上の注意

### ⚠ 警告：転倒／けが

- 発電機と灯具ユニットを搭載し、マストを最大に伸ばしたときの転倒風速は約10m/sですが、転倒に対する安全確保のためにも風速8m/s（目安：低い樹木が揺れ始める風速）以上では使用しないでください。
- 地盤のしっかりした水平な場所で使用してください。
- 必ず、発電機を搭載して、アウトリガーを設置して使用してください。このとき、アウトリガーの固定レバーを確実に締めてください。また、安全確保のため、車輪止めで固定し、固定されていない車輪に車輪止めを取り付けてください。
- 車輪移動時は、必ずマストを最低位置まで下げマストを収納してください。
- 発電機の積み降ろし時は、必ずアウトリガーを設置してください。マストを起こした瞬間、あるいは発電機を取り外した瞬間に、転倒するおそれがあります。
- マストを上げた状態では、マストを倒さないでください。灯具ユニットが重く、危険です。

### ⚠ 警告：落下／けが

- マストを上げたときは、マスト固定ハンドル、マスト固定ノブを確実に締めてください。
- マストを上げ下げするときには、マストの落下に十分注意してください。また、安全のためヘルメットを着用してください。
- 本機のマストはエアダンパー構造になっていますが、マストを下げるときは、必ず上部マストを片手で支えてから、マスト固定ハンドルを徐々に緩めてください。
- 本機を吊上げるときは、マストを倒してください。なお、吊上げ用フックやバンドは、台車フレームの指定した対角2箇所に掛けてください。マスト中央には吊上げ用フックやバンドを掛けないでください。吊上げ用フックやバンドが滑ったり、マストのロックが外れるおそれがあります。また、安全のためヘルメットを着用してください。
- 移動・車載などの運搬時は、台車の段積みをししないでください。

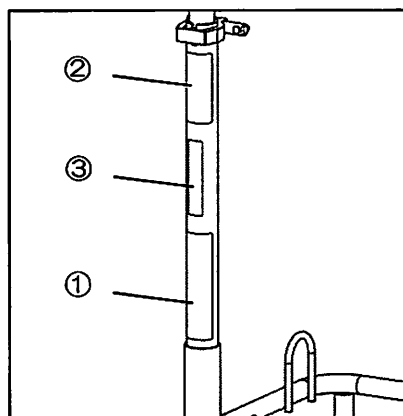
### ⚠ 注意：けが

- 設置したアウトリガーにつまずかないよう注意してください。
- 車輪移動するときは、必ずアウトリガーを収納し、車輪止めを解除してください。
- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

■警告ラベルの貼付位置

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼りかえてください。ラベルの注文は（ ）内の番号で注文してください。

- ① 警告：落下／けが、転倒  
(部品番号 T30398920-1)
- ② 注意：車載運搬時  
(部品番号 T30398940-1)
- ③ 注意：マスト部吊上げ禁止  
(部品番号 T30048960-1)



## 2. 仕様

型 式		SM46	
マ ス ト	段 数	3	
	材 質	1・2 段目：硬質アルミニウム 3 段目：ジュラルミン	
	昇降装置	手動伸縮式	
	急落下防止装置	エアダンパーマスト	
台 車	車 輪	φ225 ソリッドタイヤ × 2 輪	
	アウトリガー	無段階ロック式、2 本	
	車輪止め	あり (1 輪)	
外 形 寸 法	作業時高さ (mm)	1,779~2,717	
	収 納 時	全長 (mm)	751
		全幅 (mm)	492
		全高 (mm)	647
乾燥質量 (kg)		18.0	

## 3. 用途

### ○投光機用台車

投光機用台車に取り付ける灯具ユニット、発電機は新ダイワ製をご使用ください。

本機に取り付けて使用できる灯具ユニット、発電機は下記の通りです。

#### 灯具ユニット

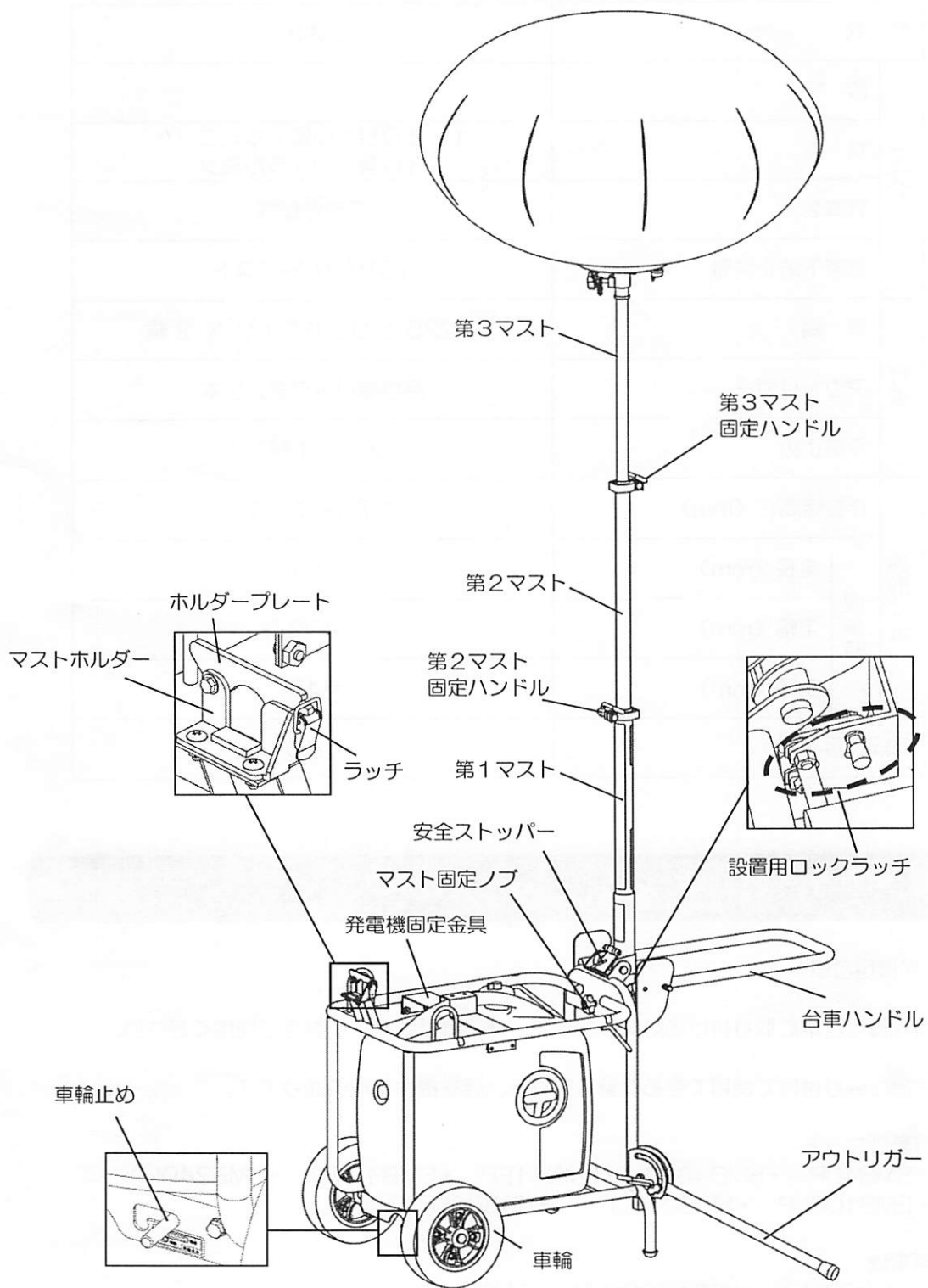
- ・SMB40P ・SMB40EP ・SMB41EP ・SMB44EP ・SMB240LP
- ・EMB100LP ・EMB240LP ・EMB300LP

#### 発電機

- ・IEG900M-Y ・IEG1600M-Y ・SLG240B

※SMB240LP はバッテリー発電機専用のため、SLG240B との組み合わせで使用してください。

## 4. 各部の名称



ブラインドキャップ (付属品)  
 ※購入時にブラインドキャップを発電機の空き  
 コンセントに取付けてください。  
 (他の電気機器接続防止)

### <付属品>

- ブラインドキャップ 1ヶ
- ワランティシート 1部

## 5. 購入時の組立て

灯具ユニット、台車、発電機はそれぞれ別梱包で工場出荷されますので、次の手順で組み付けてご使用ください。

- 1 マストを立て、マスト固定ノブを締め付けます。  
(『7-3. (1). マストの設置』を参照)
- 2 発電機を台車に取り付けます。(『6. 発電機の取付け・取外し方法』を参照)
- 3 マストに灯具ユニットを取り付け、灯具固定ノブを締め付け固定します。  
(別紙『灯具ユニットの取扱説明書』を参照)

## 6. 発電機の取付け・取外し方法

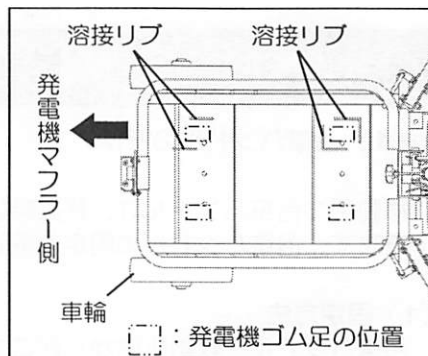
### ⚠ 警告：転倒／けが

- 発電機の積み降ろし時は、必ずアウトリガーを設置してください。マストを起こした瞬間、あるいは発電機を取り外した瞬間に、転倒するおそれがあります。

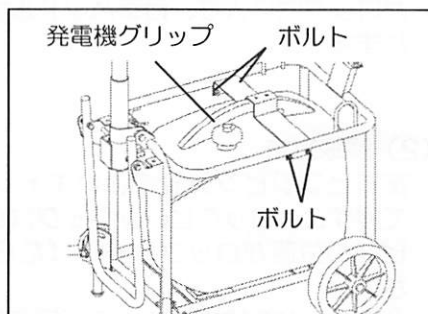
発電機の取付けは、次の手順で行ってください。取外しは、逆の手順で行います。

### 6-1. ガソリンエンジン発電機の取付け

- 1 アウトリガーを設置します。(『7-2. アウトリガーの操作』を参照)
- 2 マストを起こします。(『7-3. マストの操作』を参照)
- 3 台車の車輪側に発電機のマフラーが向くように、台車フレームの上から発電機を搭載します。このとき、発電機のゴム脚が、溶接リブに乗り上げていないか確認してください。

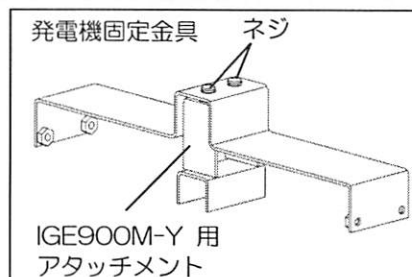


- 4 発電機固定金具を発電機のグリップ部にはめ、ボルト4本で固定します。



### <注意>

- ガソリンエンジン発電機は、IEG900M-Y のほかに IEG1600M-Y の搭載が可能です。IEG1600M-Y を搭載する場合は、発電機固定金具のネジを緩めて IEG900M-Y 用アタッチメントを外して使用してください。

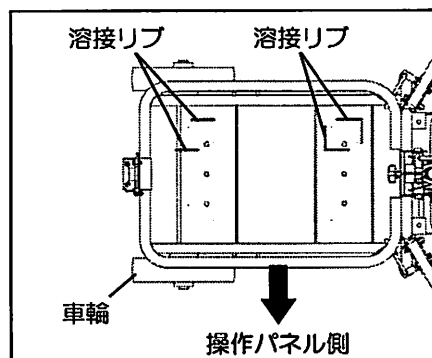


## 6-2. バッテリー発電機の取付け

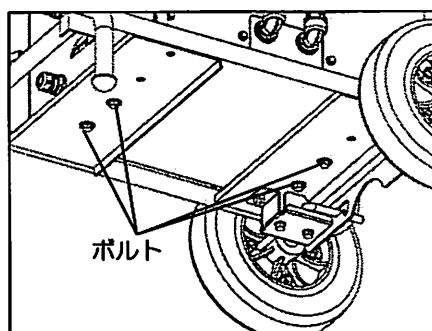
1 アウトリガーを設置します。（『7-2. アウトリガーの操作』を参照）

2 マストを起こします。（『7-3. マストの操作』を参照）

3 溶接リブの反対側に操作パネルが向くように、台車フレームの上から発電機を搭載します。このとき、発電機の脚が、溶接リブに乗り上げていないか確認してください。



4 バッテリー発電機と台車を、発電機に付属のボルト4本で固定します。



### <注意>

- SLG240B には発電機固定金具は使用しません。

## 7. 操作方法

### 7-1. 台車ハンドルの操作

移動用の台車ハンドルは、移動時に固定でき、その固定を解除すると折りたんで収納出来ます。台車ハンドルの固定と解除は、次の方法で行ってください。

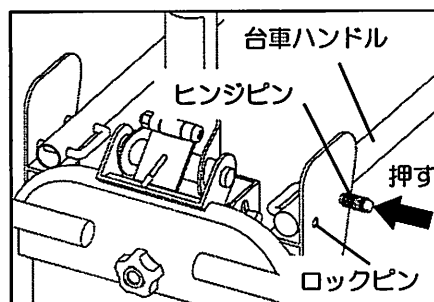
#### (1) 固定方法

台車ハンドルを収納状態から起こすと、ロックピンがロック穴に入り、台車ハンドルは自動的に固定されます。

#### (2) 解除方法

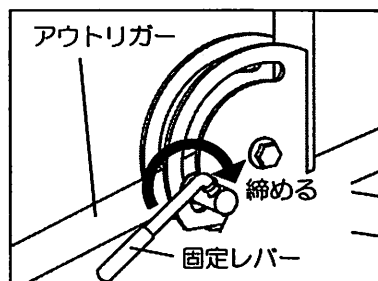
左右ヒンジピン外側の赤いキャップを内側に向けて押すと、ロックピンがロック穴から外れます。ピンの位置がロック穴を逃げたら手を離してください。

台車ハンドルは自重により折りたたまれて収納状態になります。



## 7-2. アウトリガーの操作

転倒防止用のアウトリガーは、折りたたんだ収納位置から下限位置まで無段階にロックできます。固定レバーを緩めるとアウトリガーがフリーになります。



## 7-3. マストの操作

### ⚠ 警告：転倒／けが

- マストを上げた状態では、マストを倒さないでください。灯具ユニットが重く、危険です。

### ⚠ 警告：落下／けが

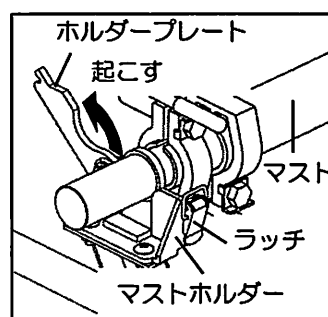
- マストを上げたときは、マスト固定ハンドル、マスト固定ノブを確実に締めてください。
- マストを上げ下げするときには、マストの落下に十分注意してください。また、安全のためヘルメットを着用してください。
- 本機のマストはエアダンパー構造になっていますが、マストを下げるときは、必ず上部マストを片手で支えてから、マスト固定ハンドルを徐々に緩めてください。

マストは倒して収納できる構造になっていますので、この収納状態で、移動・運搬・保管を行なうようにしてください。また、マストの上げ・下げは手動式です。これらのマスト操作は、次の方法で行なってください。

### (1) マストの設置

- 1 マストを固定しているラッチを外し、ホルダープレートを起こします。

- 2 マスト先端を持ち上げ、マストを設置用ロックラッチに押し付けます。カチッと音がしてラッチのツメが掛かり、マストは自動的にロックされます。



#### <注意>

- マスト設置用ロックラッチのツメが掛からない（カチッと音がしない）ときは、マスト固定ノブを緩めてください。

- 3 マスト固定ノブを締め付けます。

#### <注意>

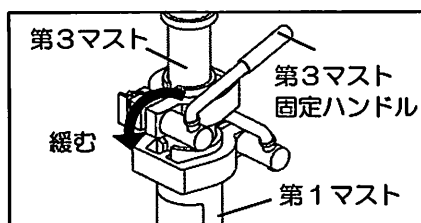
- ロックラッチでマストが倒れることはありませんが、ラッチのがたつきでマストがゆれるのを防ぐ目的です。



## (2) マストの上昇

第3マスト、第2マストの順に上げていきます。

- 1 第3マスト固定ハンドルを緩め、第3マストを引き上げます。
- 2 第3マストをいっぱいまで引き上げたら、第3マスト固定ハンドルで確実に締め付けます。
- 3 第2マスト固定ハンドルを緩め、第2マストを引き上げます。
- 4 第2マストをいっぱいまで引き上げたら、第2マスト固定ハンドルで確実に締め付けます。



## (3) マストの降下

第2マスト、第3マストの順に下げていきます。

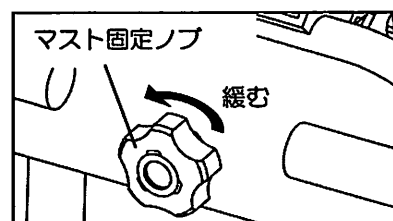
- 1 第2マストを片手でしっかり支えてから、第2マスト固定ハンドルを徐々に緩め、第2マストをゆっくり下げます。
- 2 いっぱいまで下がったら、第2マスト固定ハンドルを締め付けます。
- 3 第3マストを片手でしっかり支えてから、第3マスト固定ハンドルを徐々に緩め、第3マストをゆっくり下げます。
- 4 いっぱいまで下がったら、第3マスト固定ハンドルを締め付けます。

## (4) マストの収納

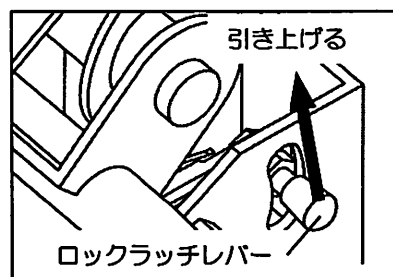
- 1 マストから灯具ユニットを取り外します。
- 2 マスト固定ノブを緩めます。

### <注意>

- マスト固定ノブが締まっていると、マスト設置用ロックラッチを解除することができません。



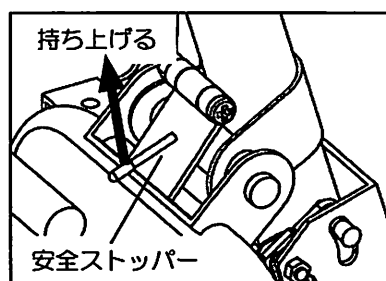
- 3 マストの上部を片手で支え、設置用ロックラッチのレバーを引き上げ、ロックを解除します。マストを傾け、ラッチのツメが外れたらレバーを離してください。
- 4 マストを傾けていくと、安全ストッパーが掛かり止ります。



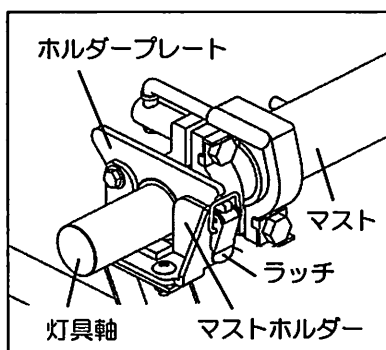
<注意>

- 不意にロックを解除してしまったり、何らかの要因でロックが外れた場合でも、マストが倒れないよう、少し傾いたところで安全ストッパーが働く構造になっています。

- 5 ↓ マストを少し戻してつまみ(赤)を持ち上げ、安全ストッパーを解除します。



- 6 ↓ 安全ストッパーを解除した状態でマストをゆっくり倒していき、灯具軸をマストホルダーの上に降ろします。

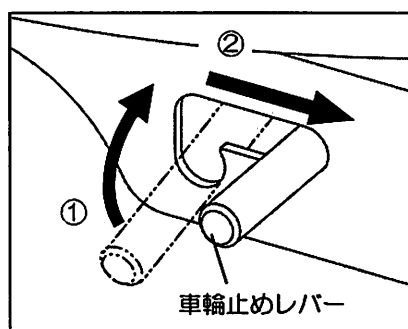


- 7 ↓ ホルダープレートで灯具軸を押さえ、ラッチをかけて確実にマストを固定してください。

#### 7-4. 車輪止めの操作

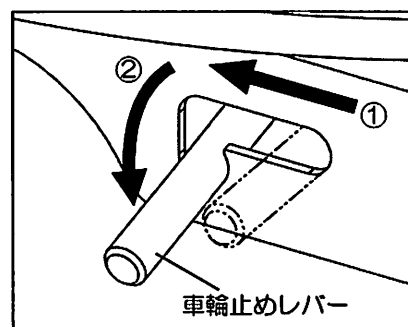
##### (1) 車輪の固定

- 1 ↓ 車輪止めのレバーを矢印①の方向に上げます。
- 2 ↓ 本機を前後に移動させると、車輪止めのレバーが矢印②の方向に移動し車輪が固定されます。
- 3 ↓ 本機が移動しないことを確認してください。



##### (2) 車輪の固定解除

車輪止めのレバーを矢印①の方向に引寄せた後、矢印②の方向に下げてください。



<注意>

- 本機を移動させるときは、必ず車輪止めの固定を解除してください。固定させた状態で移動させると故障の原因になります。

## 8. 運搬方法（移動・車載）

### ⚠ 警告：転倒／けが

- 車輪移動時は、必ずマストを最低位置まで下げてマストを収納してください。

### ⚠ 警告：落下／けが

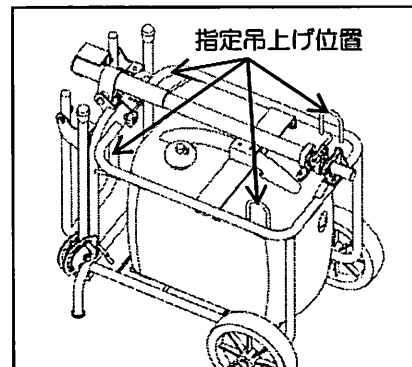
- 本機を吊り上げるときは、マストを倒してください。なお、吊上げ用フックやバンドは、台車フレームの指定した対角2箇所に掛けてください。マスト中央には吊上げ用フックやバンドを掛けしないでください。吊上げ用フックやバンドが滑ったり、マストのロックが外れるおそれがあります。

### ⚠ 注意：けが

- 車輪移動するときは、必ずアウトリガーを収納し、車輪止めが解除されていることを確認してください。

### (1) 車載時の本機吊上げ

台車フレームに指定した吊上げ位置の対角2箇所に吊上げ用フックやバンドを掛けてください。



### (2) トラック車載運搬

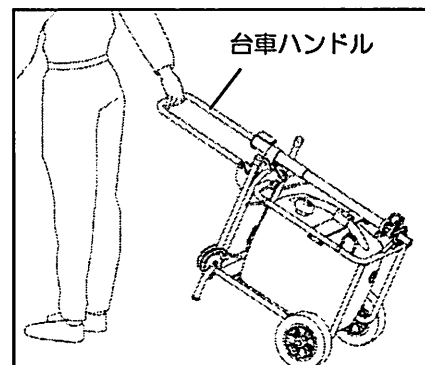
トラックに車載するときは、必ず台車フレームをロープなどで固定してください。

#### <注意>

- トラック車載運搬のときは、必ずマストを収納してください。  
(『7-3. マストの操作』を参照)
- 灯具ユニットをマストに取り付けたまま走行しないでください。トラックの振動による衝撃でエアダンパー機能が低下したりマストが折損するおそれがあります。

### (3) 車輪移動

- 1 マストを最低位置まで下げます。  
(『7-3. マストの操作』を参照)
- 2 マストを倒し、マストホルダーで固定します。  
(『7-3. マストの操作』を参照)
- 3 アウトリガーを収納します。  
(『7-2. アウトリガーの操作』を参照)
- 4 車輪止めを解除します。  
(『7-4. 車輪止めの操作』を参照)
- 5 台車ハンドルを持ち上げて台車を引いて移動します。



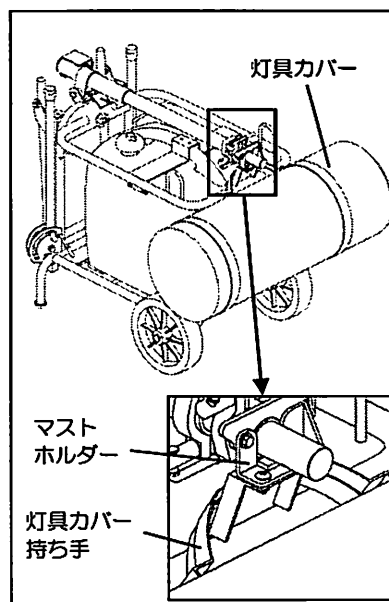
<注意>

- 本機を移動させるときは、必ず車輪止めの固定を解除してください。固定させた状態で移動させると故障の原因になります。

## 9. 保管

本機を灯具ユニットと合わせて保管するときは、次の手順で行ってください。

- 1 灯具ユニットにカバーを掛け、マストから取り外します。  
(別紙『灯具ユニットの取扱説明書』を参照)
- 2 取り外した灯具ユニットは、灯具カバーの持ち手を台車に掛けて吊り下げます。
- 3 マストを倒し、マストホルダーで固定します。  
(『7-3. マストの操作』を参照)
- 4 アウトリガーを収納します。  
(『7-2. アウトリガーの操作』を参照)

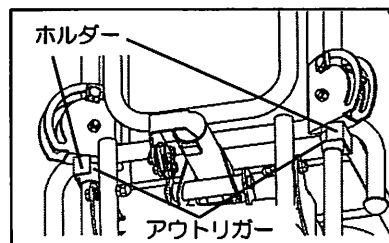
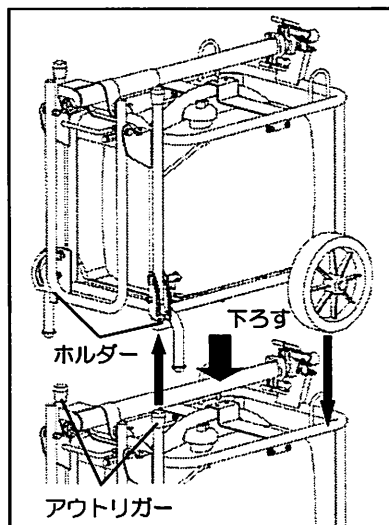


### ■段積み

段積みする台車のアウトリガーヒンジ部底のホルダーを、下側台車のアウトリガー先端に載せます。

<注意>

- 台車を軽くゆらして安定していることを確認してください。ゆれが大きい場合は、アウトリガーの固定レバーを増し締めしてください。
- 段積み可能台数は2台です。3台以上の段積みはバランスが悪くなりますのでしないでください。



## 10. 故障時の対応

本機の調子が悪いときは、次の表にしたがって点検してください。点検しても正常にならないときは、お求めの販売店か弊社営業所に修理を申しつけてください。

症状	推定原因	処置
マストの動きが悪い、または動かない	異物によるエアダンパーバルブ（ポペット）のつまり	修理
	マストとエアダンパーガスケット（ピストンメタル）の間への異物混入	修理
	マスト内部への水の浸入	修理
マストが下がるスピードが速い	エアダンパーガスケット（ピストンメタル）の摩耗	修理
	エアダンパーバルブ（ポペット）の作動不良	修理
安全ストッパーの動きが悪い	安全ストッパーの錆びつき	潤滑スプレー塗布、又は交換
ロックラッチの動きが悪い	ロックラッチの錆びつき	グリス塗布、又は交換
段積み状態が安定しない、または出来ない	アウトリガーの変形	アウトリガー交換
	台車の車輪軸の変形	台車フレーム交換
車輪止めレバーの動きが悪い	レバーの錆びつき	グリス塗布、又は交換
	レバーの変形	交換
車輪止めができない	レバーの変形	交換
	車輪の破損	交換

# 株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181

## やまびこジャパン株式会社

〒198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1005 (代)

### 北海道支社

〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

### 東北支社

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

### 東日本支社

〒198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

### 中部支社

〒452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39 Tel 052-502-4111 (代)

### 西日本支社

〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911 (代)

### 九州支社

〒816-0943 福岡県大野城市白木原 5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

ご用命の際はご購入いただいた販売店へご連絡ください。

# shindaiwa<sup>®</sup>

---

## 取扱説明書

---

### LEDバッテリー投光機

### SMB241LLG

**⚠ 注意**

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。


SMB241LLG  
X753-007 99 2  
X753818-040 2


## はじめに

このたびは、新ダイワのLEDバッテリー投光機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。


- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 投光機用台車の取扱いについては、投光機用台車の取扱説明書をお読みください。
- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取扱いができる人が行ってください。また、安全作業上で影響が出るような病気・薬服用・体調不良のときは、本機の使用を控えてください。
- 本機を使用した作業や本機の取扱いにおいては、関連する法律（労働安全衛生法、電気事業法、電気工事士法、消防法、騒音規制法等）およびそれらの法律に基づく規則を遵守してください。
- 本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
- この取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう、所定の場所に大切に保管してください。紛失・汚損・破損したときは、お求めの販売店にご注文ください。
- ご不明な点、お気づきの点がありましたらお求めの販売店にご相談ください。また、本機についてのお問い合わせ時は、モデル名と製造番号をお知らせください。
- 本機を廃棄される場合は、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

 **警告**：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

 **注意**：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合および物的損害が発生する可能性がある場合。

<注意>：本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。

- 『 注意』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

# 目次

1. 安全上の注意	2
2. 仕様	4
3. 用途	4
4. 各部の名称	5
5. 購入時点検・整備	6
6. 装備	6
6-1. 充電スイッチ	6
6-2. モニターランプ	6
6-3. 点灯スイッチ	7
6-4. 照度調整つまみ	7
6-5. 電源プラグ	8
6-6. バッテリー接続コネクタ	8
6-7. 灯具接続コネクタ	8
6-8. バッテリー容量表示	8
7. カートリッジ式バッテリーの取付け・取外し方法	9
8. バルーンヘッドの取付け・取外し方法	10
8-1. バルーンヘッドの取付け	10
8-2. バルーン布の取付け	10
8-3. 灯具接続コードの取り回し	11
8-4. 灯具カバーの取り付け	11
9. 運転手順	12
9-1. バッテリーの充電	12
9-2. 点灯	13
9-3. 消灯	13
9-4. 灯具の収納	13
10. 点検・整備	14
10-1. カートリッジ式バッテリーの管理	15
10-2. フィルターの清掃	15
10-3. バルーン布の汚れ落とし	15
10-4. バルーン布の補修	15
11. 長期保管	15
12. 故障時の対応	16

## 1. 安全上の注意

### ⚠ 警告：転倒／けが

- バッテリー発電機は必ず投光機用台車に取り付けて使用し、転倒風速以下で使用してください。転倒風速は投光機用台車の取扱説明書を参照してください。
- 地盤のしっかりした水平な場所で使用してください。

### ⚠ 警告：落下／けが

- カートリッジ式バッテリーを本機から外して運ぶときは、必ずハンドルを持って運んでください。また、安全のため、安全靴を着用してください。
- 投光機用台車の灯具軸にバルーンヘッドを取り付けるときは、灯具固定ノブのネジ部先端を灯具軸側面の抜け止め穴に入れて確実に締めてください。

### ⚠ 警告：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
- 本機の充電中は、3ピンの電源プラグ接地ピンまたは、アース線を接地して使用してください。
- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き、バッテリー接続コードも抜いてください。
- 電源コード、バッテリー接続コードは傷ついた状態で使用しないでください。

### ⚠ 警告：発熱・発火・破裂

- カートリッジ式バッテリーは本機もしくは別売の専用充電器以外で充電しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。
- 水などで濡れたカートリッジ式バッテリーを使用しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。

### ⚠ 警告：視力障害

- ランプの近くで長時間作業したり、ランプを直視しないでください。

### ⚠ 注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。

### ⚠ 注意：爆発・火災

- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

### ⚠ 注意：やけど

- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。

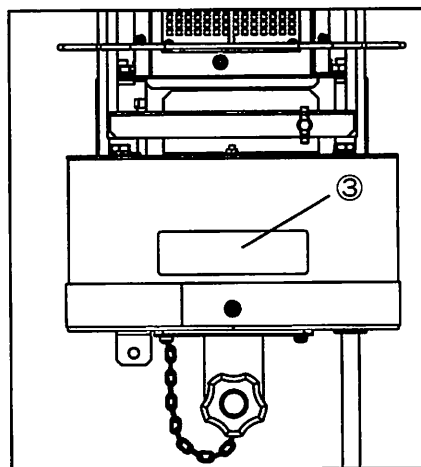
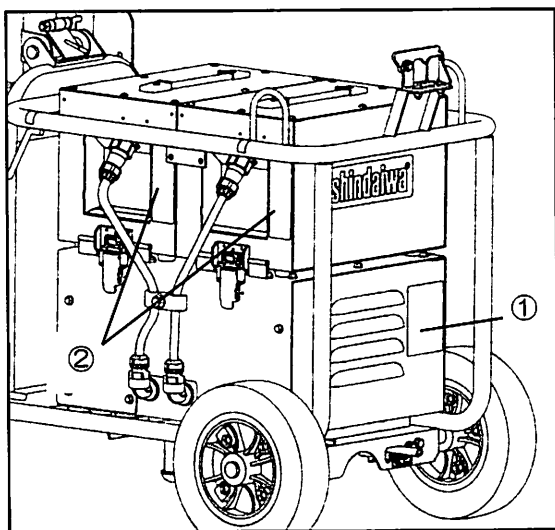
### ⚠ 注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

■警告ラベルの貼付位置

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼りかえてください。ラベルの注文は（ ）内の番号で注文してください。

- ① 感電・発熱／発火／破裂  
(部品番号 X505-011100)
- ② 発熱／発火／破裂  
(部品番号 X505-011110)
- ③ やけど  
(部品番号 X505-005390)



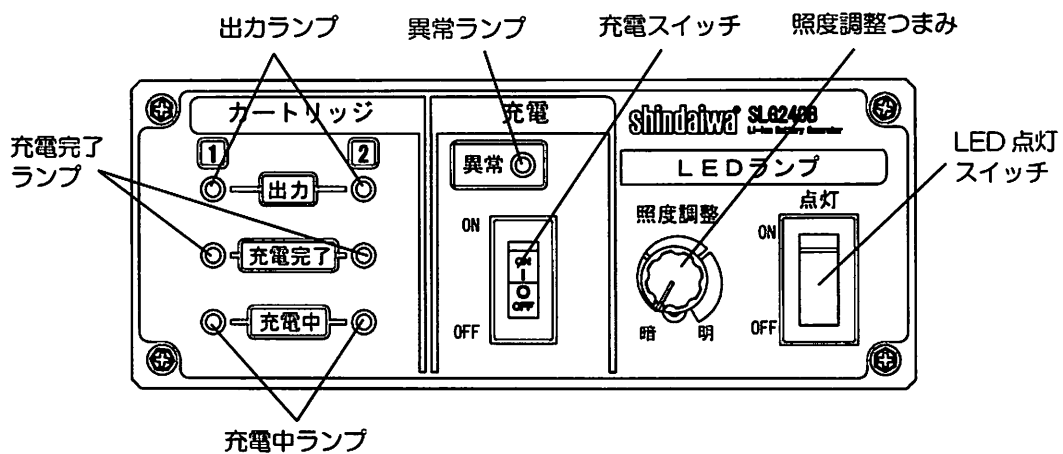
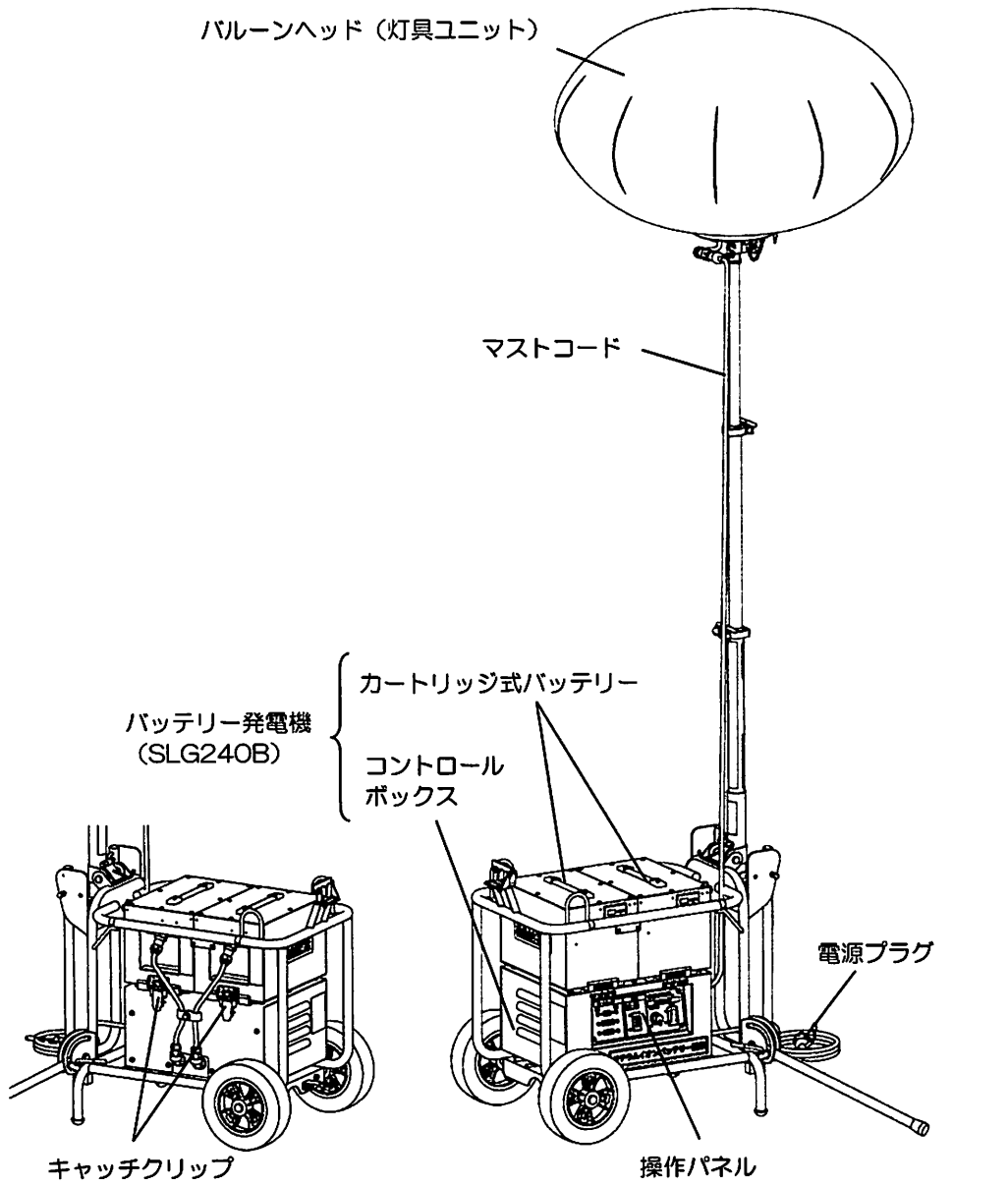
## 2. 仕様

型 式			SMB241LLG		
バルーンヘッド	型式		SMB240LP		
	定格電圧	(V)	DC24		
	定格消費電力	(W)	240		
	バルーン布		-F : 全光タイプ -S : 反射タイプ		
	ランプ	種類		高輝度白色LED	
		消費電力×数量	(W×個)	40×6	
		全光束	(Lm)	28,800	
		定格電圧	(V)	DC24	
	外形寸法		(mm)	φ840×500	
	質量 (バルーン布、灯具カバーを含む)		(kg)	6	
カートリッジ式バッテリー	型式		SLG240B		
	型式		PLB1000		
	種類		リチウムイオン		
	電圧	(V)	DC38.4		
	容量	(Ah)	54 (27×2 個)		
	容量表示		有 (レベル表示)		
	容量表示スイッチ		有 (表示後 10 秒で消灯)		
	寸法 (L×W×H)	(mm)	324×196×220		
	質量	(kg)	15.8		
	数量	(個)	2		
バッテリー充電機	入力特性	定格電圧	(V)	AC100	
		定格周波数	(Hz)	50/60	
		定格容量	(VA)	700	
	充電スイッチ			有	
	LED点灯スイッチ			有	
	照度調整つまみ			有	
	電源コード			VCT2mm <sup>2</sup> 3芯 3m	
	モニター	出力中		ランプ	
		充電中		ランプ	
		充電完了		ランプ	
		充電異常		ランプ	
	入力保護	バッテリー充電	充電スイッチ		ブレーカー (21A)
			入力電圧異常保護		電子式 (135V以上入力時遮断)
			バッテリー接続不良		電子式 (遮断)
	出力保護	LED出力	制御回路温度異常保護		電子式
			制御回路過負荷保護		電子式
	連続点灯時間 (照度最大)		(h)	8	
充電時間		(h)	4 (2×2 個)		
台車	型式		SM46		
	総質量	(kg)	70.9		
	使用温度	(°C)	5~40		

## 3. 用途

○各種照明

# 4. 各部の名称



- <付属品>
- ・ワランティーシート 1部
  - ・M6ボルト 4個

## 5. 購入時点検・整備

### ⚠ 警告：感電

- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き、バッテリー接続コードも抜いてください。

### ⚠ 警告：発熱・発火・破裂

- カートリッジ式バッテリーは本機もしくは別売の専用充電器以外で充電しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。
- 水などで濡れたカートリッジ式バッテリーを使用しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。

### ⚠ 注意：爆発・火災

- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

工場出荷運送中に、部品の破損等が生じていないか点検してください。

本機を初めて使用するときは、必ずバッテリーを満充電にしてから使用してください。充電方法については、『9-1. バッテリーの充電』の項目をお読みください。

## 6. 装備

### 6-1. 充電スイッチ

バッテリーを充電するスイッチです。電源プラグを家庭用100Vコンセントに差し込み、充電スイッチを『ON』にするとバッテリーの充電を開始します。バッテリーが満充電になると、スイッチはON状態のまま、自動的に電源を遮断します。充電完了後は、スイッチを『OFF』にしてください。

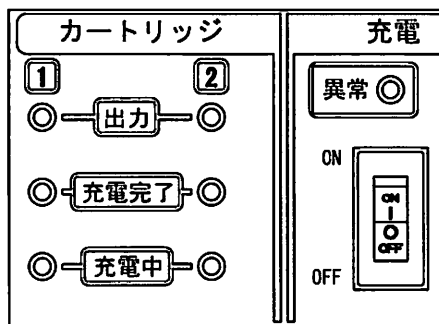
#### <注意>

- 充電スイッチは、過電流で回路遮断してもスイッチレバーは『ON』の状態のままになります。復帰させる場合は、一度『OFF』にしてから『ON』してください。

### 6-2. モニターランプ

(1) モニターランプには、次の4種類があります。

- 出力ランプ：出力しているカートリッジ式バッテリーを表示するランプが点灯します。
- 充電完了ランプ：充電が完了したカートリッジ式バッテリーを表示するランプが点灯します。
- 充電中ランプ：充電中のカートリッジ式バッテリーを表示するランプが点灯します。
- 異常ランプ：充電中に異常があると点灯または点滅します。



## (2) 出カランプ

バルーンヘッドが点灯しているとき、出力側のバッテリー出カランプが点灯します。充電されたバッテリーを2個搭載した場合、カートリッジ1から出力を開始し、カートリッジ1の出カランプが点灯します。カートリッジ1のバッテリー容量がなくなると、自動的にカートリッジ2に切り替わり、カートリッジ2の出カランプが点灯します。

## (3) 充電中ランプ・充電完了ランプ

充電はバッテリー1個につき約2時間で完了します。2個充電する場合は約4時間で完了します。

カートリッジ1から充電を開始し、充電が完了すると自動でカートリッジ2に移行します。充電中は、充電しているカートリッジの充電中ランプが点灯し、充電が完了すると充電中ランプが消灯して充電完了ランプが点灯します。

## (4) 異常ランプ

充電中の異常は、次の表のように異常ランプの状態によって原因を判断することができます。

◎：点滅    ○：点灯

異常ランプ	原因	処置
◎ (0.5秒間に2回点滅後 1.5秒消灯)	バッテリー接続コネクタ の接続不良	バッテリー接続コネクタ を確実に接続する
○	温度異常	充電スイッチを切り充電 を中断し冷却を行う。

### <注意>

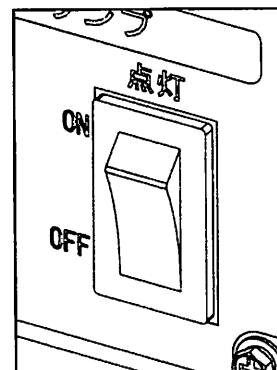
- 処置しても正常にならないときは、お求めの販売店に修理を申しつけてください。

### 6-3. 点灯スイッチ

LEDを点灯させるスイッチです。

LEDを点灯させる場合はスイッチを1秒以上『ON』に、消灯させる場合は『OFF』にしてください。

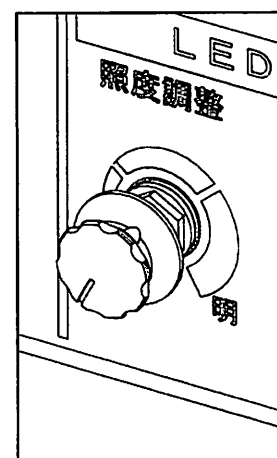
このスイッチは、『ON』の動作後手を離すと中立の位置に戻りますが、『ON』の動作は継続します。



### 6-4. 照度調整つまみ

LEDの明るさを調整するつまみです。右方向いっぱいまで回した状態が最大照度で、左方向いっぱいまで回した状態が最小照度です。

LEDが明るすぎる場合や、点灯時間を長くしたい場合に、左方向に回して明るさを調整してください。



## 6-5. 電源プラグ

### ⚠ 警告：感電

- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
- 本機の充電中は、3ピンの電源プラグ接地ピンまたは、アース線を接地して使用してください。
- 電源コード、バッテリー接続コードは傷ついた状態で使用しないでください。

PLB1000を充電する電源プラグです。電源プラグは3ピン(接地付)プラグで、接地用のピンは内側に折り込むことができますので、2ピン用のコンセントでも使用できますが、電源プラグ横についているアース線(ワニ口クリップ)で必ず接地してください。

### <注意>

- バッテリー充電時の最大電流は、約7Aです。100Vコンセントの容量を確認して接続してください。また、他の機器と同じコンセントに接続すると、コンセントのブレーカー容量をオーバーし遮断することがあります。

## 6-6. バッテリー接続コネクタ

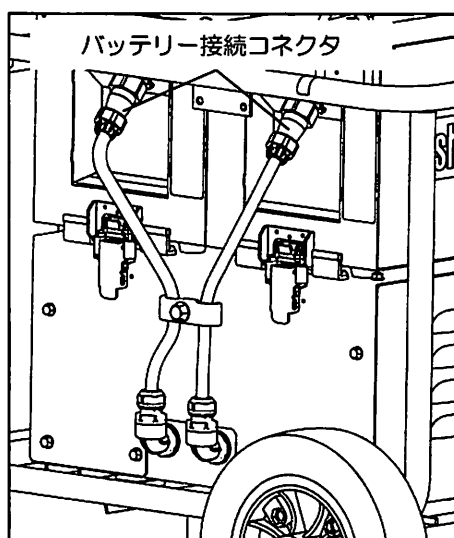
カートリッジ式バッテリーとコントロールボックスを接続するコネクタです。

接続の時は、コネクタのはめ合い位置を合わせて差し込み、コード側の抜け止めリングを右にカチッと音がするまで回して固定してください。

接続を外すときは、抜け止めリングを左に回してゆるめ、コネクタを抜いてください。

### <注意>

- 充電中やLED点灯中はスパークが発生しますので、バッテリー接続コネクタを外さないでください。

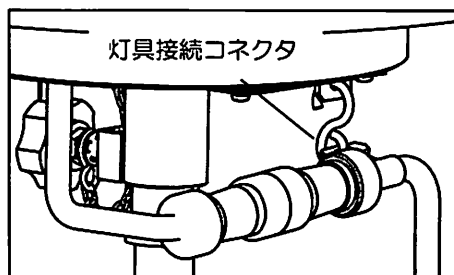


## 6-7. 灯具接続コネクタ

灯具ユニットとバッテリー発電機を接続するコネクタです。

接続するときは、コネクタのはめ合い位置を合わせて差し込み、コード側の抜け止めリングを右に回して締め付けます。

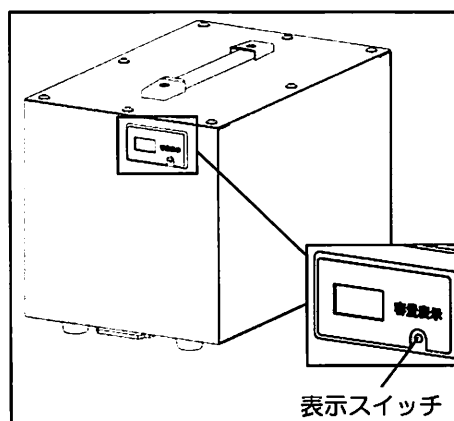
接続を外すときは、抜け止めリングを左に回してゆるめ、コネクタを引き抜いてください。



## 6-8. バッテリー容量表示

表示スイッチを押すとインジケータが点灯し、バッテリー容量を表示します。

表示後、約10秒後にインジケータが自動的に消灯します。



## 7. カートリッジ式バッテリーの取付け・取外し方法

### ⚠ 警告：落下／けが

- カートリッジ式バッテリーを本機から外して運ぶときは、必ずハンドルを持って運んでください。また、安全のため、安全靴を着用してください。

### ⚠ 警告：発熱・発火・破裂

- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。

カートリッジ式バッテリーを取り付けるときは、次の手順で行ってください。

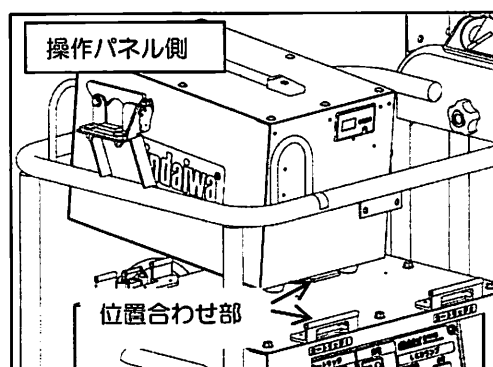
取り外すときは逆の手順で行ってください。

また、キャッチクリップに市販の南京錠等を取り付けることで、バッテリーの盗難を防止できます。

- 1 操作パネル側の位置合わせ部にカートリッジ式バッテリーの位置合わせ部を差し込んだ後、リヤ側にある位置決め部がはまり込むようにバッテリーを置きます。

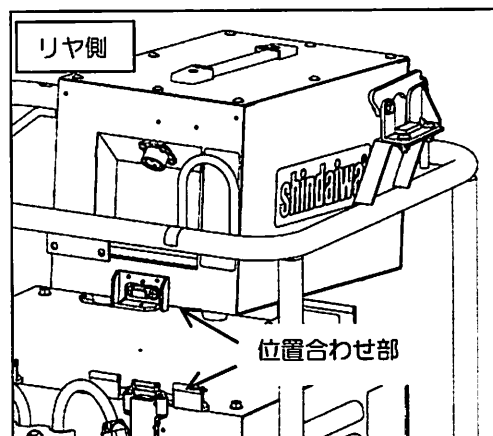
- 2 バッテリーとコントロールボックスをキャッチクリップで固定します。

- 3 バッテリー接続コネクタを接続します。



### <注意>

- バッテリー接続コネクタをバッテリーに抜き差しするときは、必ず充電コードが電源に接続されていない状態で、充電スイッチを『OFF』にして行ってください。



## 8. バルーンヘッドの取付け・取外し方法

### ⚠ 警告：落下／けが

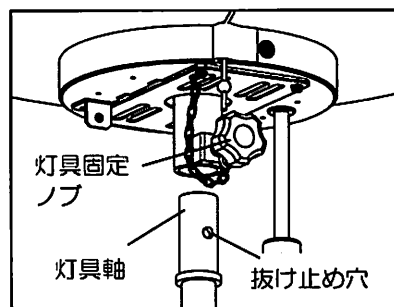
- SM46の灯具軸に灯具ユニットSMB240LPを取り付ける際は、灯具固定ノブのネジ部先端を灯具軸側の抜け止め穴に入れて確実に締めてください。

### 8-1. バルーンヘッドの取付け

取付けは、次の方法で行ってください。取り外しは逆の手順で行います。

1 バルーンヘッドの灯具固定ノブをゆるめ、灯具軸が入る穴の内面からねじが飛び出していない状態にします。

2 バルーンヘッドを台車の灯具軸に差し込みます。  
このとき、軸側面の抜け止め穴と灯具固定ノブの位置を合わせてください。



3 灯具固定ノブを締め付け、固定します。  
このとき、灯具固定ノブを締めきる前に、バルーンヘッドを回転させて、灯具固定ノブのネジ部先端が抜け止め穴に入っているか、確認してください。

### <注意>

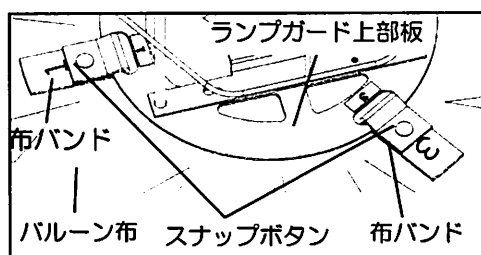
- 灯具固定ノブの締め付け位置が抜け止め穴からずれると、軸の外周を傷つけ、バルーンヘッドが取り外せなくなります。

### 8-2. バルーン布の取付け

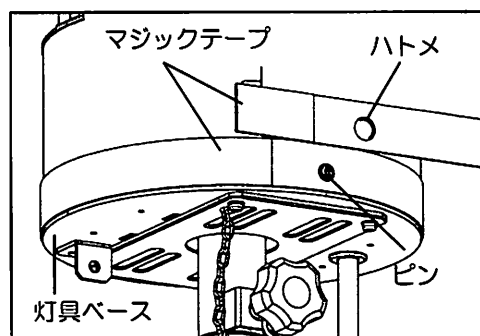
バルーン布は組み付けられておりませんので、購入時は、次の方法で取り付けてご使用ください。取り外しは逆の手順で行います。

1 バルーン布側面のファスナーを開きます。

2 バルーン布内側にある布バンド3本をランプガード上部板の穴に通し、スナップボタンで取り付けます。  
このとき、布バンドと上部板に付いている番号を一致させてください。



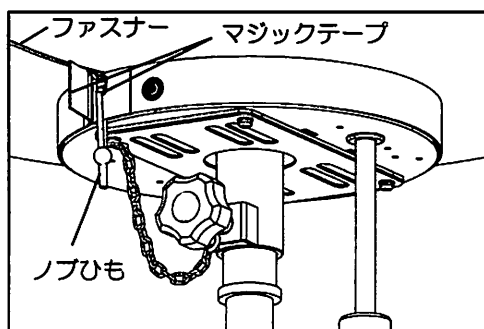
3 バルーン布をランプガードに被せて、バルーン布下部と灯具ベースのマジックテープを貼り合せます。  
このとき、バルーン布のマジックテープ端にあるハトメと灯具側マジックテープにあるピン（ネジの頭）を合せて、位置決めをしてください。



- 4 バルーン布側面のファスナーを閉じます。このとき、マジックテープの端を少し剥がして、ファスナーノブひもを挟み、再び貼り合せます。

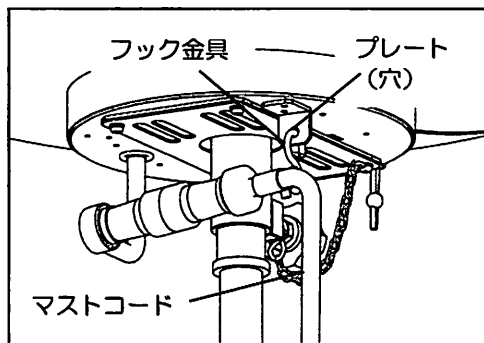
<注意>

- 強風によりファスナーが開くことがありますので、必ずノブひもをマジックテープで挟んでください。



8-3. 灯具接続コードの取り回し

灯具接続コードのネクタに無理な力が加わらないように、フック金具を灯具ベース下部のプレート(穴)に引っ掛けて使用してください。



8-4. 灯具カバーの取り付け

<注意>

- 台車に取り付けたまま一時保管するときも、カバーを掛けてください。灯具カバーを掛けないと風による擦れや紫外線にり、バルーン布が劣化し、寿命が低下します。

バルーンヘッドを台車に取り付けた状態で行うと、容易に取付けられます。

- 1 バルーン布をランプガードに巻き付けます。
- 2 灯具カバーの側面のファスナーを開けます。
- 3 灯具の横から灯具カバーを被せ、ファスナーを閉めます。

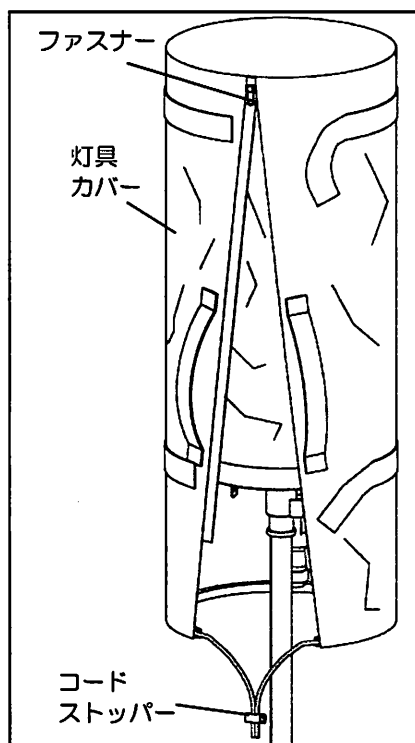
<注意>

- ファスナーを閉めるとき、バルーン布を挟まないよう注意してください。

- 4 バルーンヘッドを台車から降ろしたら、灯具カバー口元をコードストッパーで絞りと、ひもを結びます。

<注意>

- ひもを結ばないと、コードストッパーがすれ、灯具ユニットが飛び出すおそれがあります。



## 9. 運転手順

### ⚠ 警告：転倒／けが

- バッテリー発電機は必ず投光機用台車に取り付けて使用し、転倒風速以下で使用してください。転倒風速は投光機用台車の取扱説明書を参照してください。
- 地盤のしっかりした水平な場所で使用してください。

### ⚠ 警告：落下／けが

- 投光機用台車の灯具軸にバルーンヘッドを取り付けるときは、灯具固定ノブのネジ部先端を灯具軸側面の抜け止め穴に入れて確実に締めてください。

### ⚠ 警告：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
- 本機の充電中は、3ピンの電源プラグ接地ピンまたは、アース線を接地して使用してください。
- 電源コード、バッテリー接続コードは傷ついた状態で使用しないでください。

### ⚠ 警告：発熱・発火・破裂

- カートリッジ式バッテリーは本機もしくは別売の専用充電器以外で充電しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないでください。
- 水などで濡れたカートリッジ式バッテリーを使用しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。

### ⚠ 警告：視力障害

- ランプの近くで長時間作業したり、ランプを直視しないでください。

### ⚠ 注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。

### ⚠ 注意：爆発・火災

- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

### ⚠ 注意：やけど

- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。

### ⚠ 注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

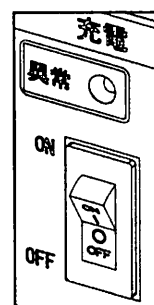
### 9-1. バッテリーの充電

1 電源プラグを家庭用100Vコンセントに差し込みます。3ピン用コンセントでない場合はアース線を接地します。

2 充電スイッチを『ON』にします。

#### <注意>

- バッテリーを充電しながらLEDを点灯することはできません。
- 周囲温度5℃~40℃の環境で充電してください。



## 9-2. 点灯

- 1 照明する場所に本機を移動し、台車のキャスターをロックします。  
(別紙『投光機用台車の取扱説明書』を参照)
- 2 アウトリガーを設置し、マストを起こします。  
(別紙『投光機用台車の取扱説明書』を参照)
- 3 灯具カバーからバルーンヘッドを取り出します。
- 4 マストにバルーンヘッドを取り付けます。  
(『8-1. バルーンヘッドの取付け』の項を参照)
- 5 灯具接続コネクタをバルーンヘッドのレセプタクルに接続し、フック金具をプレートに引っ掛けます。
- 6 バッテリー容量表示スイッチを『ON』にしてバッテリー容量を確認します。  
バッテリー容量表示が2目盛り以下であれば充電してからご使用ください。  
(『6-8. バッテリー容量表示』の項を参照)
- 7 LED点灯スイッチを『ON』にします。
- 8 マストを上昇させて、バルーンヘッドを任意の高さに合わせます。  
(別紙『投光機用台車の取扱説明書』を参照)
- 9 照度調整つまみで照度(明るさ)を調整します。  
(『6-4. 照度調整つまみ』の項を参照)

### <注意>

- LEDを点灯しながらバッテリーを充電することはできません。

## 9-3. 消灯

- 1 マストを降下させます。(別紙『投光機用台車の取扱説明書』を参照)
- 2 LED点灯スイッチを『OFF』にします。

## 9-4. 灯具の収納

- 1 バルーンヘッドから灯具接続コネクタを取り外し、フック金具を外します。
- 2 バルーン布をランプガードに巻き付けます。
- 3 灯具カバーを掛けます。(『8-4. 灯具カバーの取付け』の項を参照)

### <注意>

- 一時保管するときも、カバーを掛けてください。灯具カバーを掛けないと風による擦れや紫外線により、バルーン布の寿命が低下します。

- 4 灯具固定ノブの先端が灯具軸のキリ穴から外れるまで、固定ノブをゆるめ、バルーンヘッドをマストから取り外します。
- 5 マストを倒し、灯具軸をマストホルダーで固定します。
- 6 アウトリガーを収納します。

## 10. 点検・整備



### 警告：落下／けが

- カートリッジ式バッテリーを本機から外して運ぶときは、必ずハンドルを持って運んでください。また、安全のため、安全靴を着用してください。



### 警告：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でしないでください。
- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き、バッテリー接続コードも抜いてください。



### 警告：発熱・発火・破裂

- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。



### 警告：視力障害

- ランプの近くで長時間作業したり、ランプを直視しないでください。



### 注意：爆発・火災

- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。



### 注意：やけど

- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。



### 注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

本機を常に良好な状態で使用できるよう、次の表にしたがって定期的に点検・整備を行ってください。

#### <注意>

- 交換部品は、必ず純正品を使用してください。
- バッテリーその他の有害物を捨てる場合は、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。

点検箇所	点検内容	始業前	月に1度	処置
バッテリー接続コネクタ	抜け	○		差し込み
電源コード	コードの傷付き	○		補修、交換
バルーン布	破れ	○		補修、交換
	汚れ	○		ふき取り、交換
ファン	異音（運転確認）	○		交換
フィルター	目詰まり		○	水または中性洗剤で揉み洗い

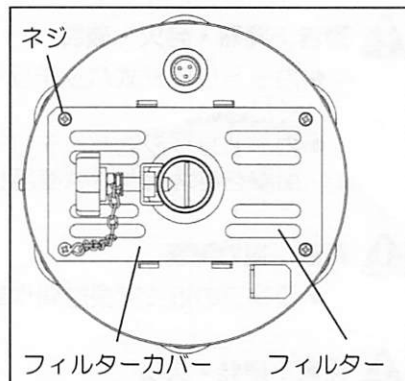
### 10-1. カートリッジ式バッテリーの管理

本機を長く使用していただくためには、バッテリーの管理が重要なポイントとなります。次の点に留意してください。

- (1) 風通しがよく、雨水のかからない場所に保管してください。
- (2) 使用後は、必ず満充電にして保管してください。放電した状態での保管はバッテリーの寿命を著しく縮めます。  
長時間使用しない場合は、バッテリーの劣化を抑えるため、定期的に充電を行ってください。
- (3) 次の現象が現れたら、バッテリーの寿命です。新品のカートリッジ式バッテリーと交換してください。
  - 充電しても、点灯時間が著しく短くなった。
  - 充電しても、バッテリー電圧（バッテリーコネクタ両端の電圧）が38V以上の値にならない。

### 10-2. フィルターの清掃

- 1 フィルターカバー固定のネジ4本をゆるめ、フィルターカバーを外します。
- 2 フィルターは半割りになっていますので横に取り出し、水または中性洗剤で軽く揉み洗いし乾燥させます。
- 3 フィルターの取り付けは逆の手順で行います。



### 10-3. バルーン布の汚れ落とし

中性洗剤をつけた布で、汚れをふきとってください。

#### <注意>

- アルコール、ガソリンなどの溶剤は使用しないでください。
- 生地のコーティングを傷めますので、揉み洗いや洗濯機洗いは行わないでください。

### 10-4. バルーン布の補修

補修用シート（裏面接着式）を補修箇所のほこりや油分をきれいに落として、貼り付け、しっかり押え付けてください。

## 11. 長期保管



#### 注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。



#### 注意：やけど

- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。

本機を2ヶ月以上使用しないときは、次の手順で整備を行ってください。

- 1 泥や汚れを落とします。
- 2 マストを完全に下げて固定し、収納します。
- 3 風通しがよく、雨水のかからない保管場所に移動します。
- 4 カートリッジ式バッテリーを充電した後、バッテリー接続コネクタを外した状態で保管します。

## 12. 故障時の対応

### ⚠ 警告：落下／けが

- カートリッジ式バッテリーを本機から外して運ぶときは、必ずハンドルを持って運んでください。また、安全のため、安全靴を着用してください。
- 投光機用台車の灯具軸にバルーンヘッドを取り付けるときは、灯具固定ノブのネジ部先端を灯具軸側面の抜け止め穴に入れて確実に締めてください。

### ⚠ 警告：感電

- 充電中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 点検・整備を行うときは、必ず電源プラグを電源から抜き、バッテリー接続コードも抜いてください。

### ⚠ 警告：発熱・発火・破裂

- 水などで濡れたバッテリーを使用しないでください。
- カートリッジ式バッテリーを変形やショートさせたり、分解・改造しないでください。
- カートリッジ式バッテリーに強い衝撃を与えないでください。落下等の強い衝撃を与えたときは使用しないでください。

### ⚠ 警告：視力障害

- ランプの近くで長時間作業したり、ランプを直視しないでください。

### ⚠ 注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。

### ⚠ 注意：爆発・火災

- カートリッジ式バッテリーの着脱を行うときには、接続端子間を金属製の工具やケーブル端子などで短絡させないでください。

### ⚠ 注意：やけど

- LED点灯時や消灯直後は、バルーンヘッドが高温になっていますので触れないでください。

### ⚠ 注意：けが

- 改造したり、部品を外したまま使用しないでください。

本機の調子が悪いときは、次の表にしたがって点検してください。点検しても正常にならないときは、お求めの販売店に修理を申しつけてください。

症状		推定原因	処置
充電しない	充電中ランプが消灯している	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込む
		充電スイッチが『OFF』	『ON』にする
		電源電圧が低下している	100V 電源に接続する
	異常ランプが点滅	バッテリー接続コネクタの接続不良	確実に接続する

症状	推定原因	処置
充電が完了しない (充電中ランプが点灯し、充電完了ランプが消灯している)	電源電圧の低下	100V電源に接続する
充電が完了したバッテリーのインジケータが満容量にならない	周囲温度が低いことによる充電不良	周囲温度 5℃～40℃の環境で充電する
	バッテリーの寿命	カートリッジ式バッテリーを交換する
LEDが点灯しない	出力スイッチが『OFF』	『ON』にする
	充電スイッチが『ON』	『OFF』にする
	バッテリーコネクタの接続不良	出力スイッチを一度『OFF』にしたのち、コネクタを確実に接続し、『ON』にする
	灯具接続コネクタの接続不良	出力スイッチを一度『OFF』にしたのち、コネクタを確実に接続し、『ON』にする
	バッテリー容量の低下	充電する (バッテリー容量を確認する)
LEDの点灯時間が短い	バッテリー容量の低下	充電する (バッテリー容量を確認する)
	バッテリーの寿命	カートリッジ式バッテリーを交換する
	バッテリーの充電不良	周囲温度 5℃～40℃の環境で充電する

# 株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2  
Tel 0120-176-181 (製品・技術的なお問い合わせ)  
受付時間：弊社営業日 9:00~17:00

## やまびこジャパン株式会社

〒198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1005 (代)

### 北海道支社

〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

### 東北支社

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

### 東日本支社

〒198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

### 中部支社

〒452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39 Tel 052-502-4111 (代)

### 西日本支社

〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田 566-159 Tel 086-296-5911 (代)


### 九州支社

〒816-0943 福岡県大野城市白木原 5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

ご用命の際はご購入いただいた販売店へご連絡ください。

# <バッテリー>LED バルーン投光機 SMB241LLG 返却時の梱包手順

## 蓄電器とバルーンの梱包方法

①		<ul style="list-style-type: none"><li>• バルーンライトの電源を切り、バルーン部分をスタンドから外して、箱に収納します。(バルーンの中のライトが熱くなっていたら、しばらく経ってから収納してください。)</li></ul>
②		<ul style="list-style-type: none"><li>• 蓄電器をバッテリーから取り外して箱にしまいます。</li></ul> <p>※取扱説明書のカートリッジ式バッテリーの取付け・取り外し方法に記載されています。</p>
③		<ul style="list-style-type: none"><li>• バルーンを収納した箱を蓄電器の上に置きます。</li></ul>

④



•マジックテープをとめて完成です。

⑤

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。

返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。

梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が返却用の伝票です。



## 台車の梱包方法

①		<ul style="list-style-type: none"><li>• コードに取り付けてあるコードストラップでまとめてください。</li></ul>
		<ul style="list-style-type: none"><li>• マスト（バルーンを取り付けた部分）を折り畳んでください。</li></ul> <p>※取扱説明書の7-3.マストの操作を参考にしてください。</p>
		<ul style="list-style-type: none"><li>• 返却用PPバンドを台車を乗せる前に下に2本通します。</li></ul>



- 台車を下箱に入れます。



- 箱を被せて、PPバンドを閉めたら完成です。

※PPバンドの留め方は、取扱説明書の最後に記載されています。

- ▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。  
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。  
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が  
返却用の伝票です。



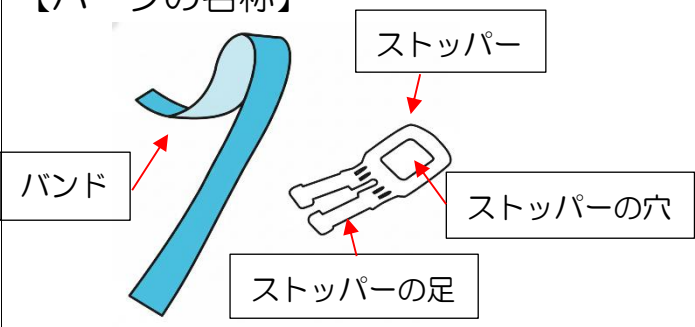
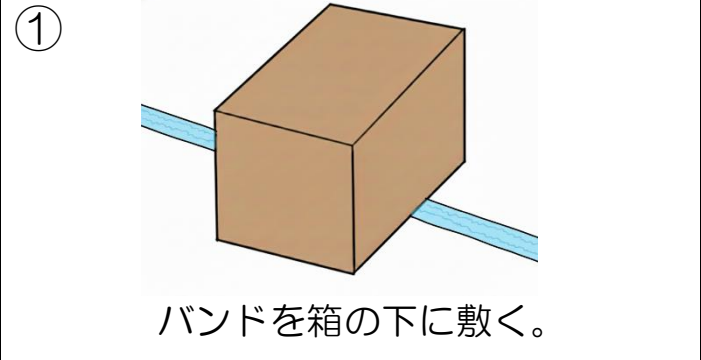


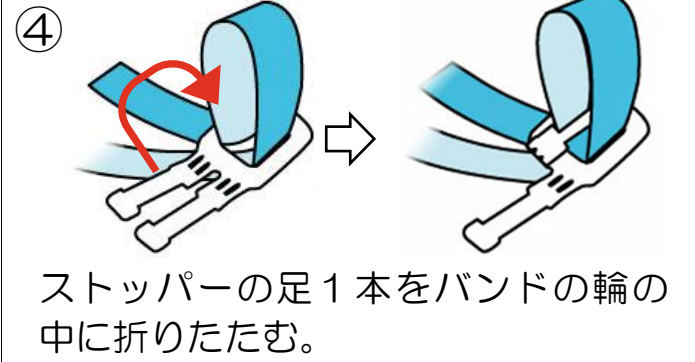



# 梱包時PPバンドの使用法



下記手順を参考にしても分からない場合は、動画でも確認できます。

QRコードまたはリンクからご視聴ください。

<https://youtu.be/8ZejU--OkI4>

<p>【パーツの名称】</p>  <p>バンド</p> <p>ストッパー</p> <p>ストッパーの穴</p> <p>ストッパーの足</p>	<p>①</p>  <p>バンドを箱の下に敷く。</p>
<p>②</p>  <p>バンドの先端に輪を作る。</p>	<p>③</p>  <p>作った輪をストッパーの穴に通す。</p>
<p>④</p>  <p>ストッパーの足1本をバンドの輪の中に折りたたむ。</p>	<p>⑤</p>  <p>バンドの先端を矢印の方向に引っ張る。</p>
<p>⑥</p>  <p>荷物の下に通した反対側のバンドの先端も同様に（バンドの向きは反対となります）②～⑤の手順を行う。</p>	<p>⑦</p>  <p>バンドを両端に引っ張り、しっかり締める。</p>